

指導マニュアル 1: 地政学的境界の再定義

～歴史的な「分断」を現代の「安全保障」に接続する～

1. 指導の核心(コンセプト)

生徒に「地図上の線(国境)」と「権力の空白(力の真空)」の因果関係を理解させます。過去の軍事的な分断が、現代では技術や経済の分断へ形を変えて継続していることを論じさせることがゴールです。

2. 重点指導ポイント

A. 「力の真空」のメカニズム

- 解説の急所: 「日本が負けた」から分断が起きたのではない。「日本が支配していた空間が消え、そこに誰が入るかの争いが起きたから分断された」という構造を強調してください。
- キーワード: 版図(はんと)の消失、権力の空白、安全保障観の対立。

B. 物理的境界から機能的境界へ

- 解説の急所: かつての境界は「壁(軍事境界線)」でしたが、現代の境界は「網(サプライチェーン)」です。目に見えないが、一度遮断されると国家の生存に関わる点では同じであることを意識させます。

3. 生徒を伸ばす問いかけ

- 「もし日本が敗戦後も朝鮮半島を統治し続けていたら、冷戦はどうなっていたと思う？」
- 「今の日本と中国を分けているのは、海という物理的な距離だけだろうか？」

4. 添削の際の NG ワード・NG 論理

- ✕「戦争は悲惨だから、境界線をなくすべきだ」→ 理想論すぎる。
- ✕「アメリカとソ連が仲良くしていれば分断は起きなかった」→ 知的な怠惰(構造的対立の無視)。
- ○「力の真空を埋める過程で生じた、安全保障上の必然としての分断」という表現を推奨。